

東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究責任者	所属・学年： 映像 2年 学籍番号： 1022004 氏名： 石川大貴 <span style="float: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</span>
申請活動名	石川プロダクション

指導（支援）教員名	所属・職位	役割分担
内山 勇士	映像学科 助手	編集アドバイザー

参加した学生の氏名・所属・学年役割分担		
所属： 映像学科	氏名： 石川大貴	役割： 総合監督
所属： インテリアデザイン	氏名： 森田夏生	役割： キャラクターデザイン
所属： マジック画像	氏名： 増田良智	役割： 衣装制作
所属： 生命環境化学	氏名： 田中佳祐	役割： 衣装制作
所属： コンピューター応用	氏名： 浜田祐輔	役割： 音楽制作
所属： 映像学科	氏名： 今野航	役割： 撮影スタッフ
所属： 映像学科	氏名： 深沢良磨	役割： 撮影スタッフ
所属：	氏名：	役割：
所属：	氏名：	役割：
所属：	氏名：	役割：

活動の内容（できるだけ詳しく）

アフターエフェクトをくした、プロに引けを取らない特撮映像を目標に映画を制作しました。

登場するキャラクターは全てオリジナルのデザインで、衣装の素材はFRP（合成樹脂）を使用しており、完成度は高いものができあがりました。

当初は、映像学科の生徒たちが大半でしたが、制作方針に適した人材がおらず、かなりの人数が入れかわりました。

そこで、撮影場所を、私の実家の尚森に求めて、地元のスタッフを石川保し、制作する事になりました。結果的には、うまくいきました。

その後、厚木のスタッフを、映像学科の生徒にこまめに、積極的に他学科の生徒たちを入れることにより、問題を解決する事ができました。

そのおかげで、本来の目的である、工・芸共同で制作する事ができ、それぞれの学科の能力を生かせる作品が完成する事ができました。

猿甲魁梧がネをシリーズ化し、今後も、工芸共同石川保にとりくんびいきたいです。

活動のスケジュール

6月～10月

ストーリーの構想 プリプロダクション  
衣装制作 - トレーニングセッション

11月～2月

撮影

音本にて撮影開始

3月～4月

編集→完成

6月以降

コンテストに出展

活動により得られた成果

映画制作に必要な能力、技術、人材、経費の4つが得られました。

ストーリーを立案した当初は、私が1年生ということで、右も左もわからず  
暗中模索の日々が続きました。

ですが、そのおかげで、私自身の未熟な部分も発見する事ができ、とても良い経験となりました。

これからの制作は、今までの失敗や成功を生かし、大学の発展に貢献していきたいです。

今後の活動予定

装甲鬼のグッズのシリーズ化を考えております。

次回作は、さらに、クオリティを上げて、工学部が制作したロボットを作品に登場させます。  
工学大学全学科の技術力を集結し、大学全体を盛りあげ、全国に通用する作品を、  
作り上げていきたいです。

活動経費

※金額を記入

1. 物品費	659,295 円 (円)	(主な内訳)
機器備品支出	225,431 (円)	三脚代 ヘッドホン、ケーブル ICレコーダー
用品費・消耗品費	220,817 (円)	DVテープ カメラマイク エアークラシ
図書・図書資料費	(円)	パテ FRP 塗料
その他物品費	209,047 (円)	モデルガン 衣装 生地
2. 活動費	24,966 円 (円)	(主な内訳)
旅費	(円)	
通信運搬費	(円)	
印刷製本費	24,966 (円)	インク代 紙代
業務委託費	(円)	
諸会費	(円)	
その他活動費	(円)	
経費合計	680,261 (円)	

怒りの  
鉄拳  
で

悪を叩き潰す

装甲鬼

クロガネ

Co.-GEIチャレンジャー

石川プロダクション

